

安全運転(22号)



新潟地方交通共済協同組合
(発行) 事故防止対策室

〔運行管理者・運転者の皆様へ〕

「冬の交通事故ゼロ運動」終了

12月1日(月)～令和8年1月31日(土)までの2ヶ月間

実施期間中、109件の事故が発生し、前年と比べて8件増加しました。各県の発生状況は新潟地区56件(対前年-5件)山形地区40件(対前年+13件)秋田地区13件(対前年±0件)となっており、特に山形地区で多く発生しました。今冬は寒波の影響により、車間距離不足によるスリップ追突や除雪狭路でのすれ違い接触など冬特有の事故が増加したものと考えられます。雪道では速度を十分に落とし、車間距離を長くするなど雪道特有の対策を講じるようお願いいたします。

《構内のバック事故を無くそう》

- 2月に入り、構内のバック事故が増加しております。次のポイントに注意して、バックに関する基本動作を再確認してください。

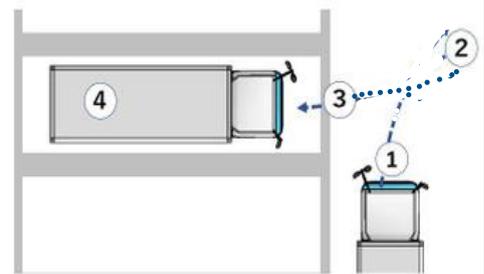
基本動作

- ①停止してまずは駐車スペースの確認
- ②安全確認してからバック
- ③顔や体を動かしながら目視確認
- ④ポイントごとに停止をして最後の安全確認

ここに注目

見えない死角を事前に確認
ブザー3回後、徐行で左右確認
バックは真っ直ぐが基本
見落としの防止

- バックモニターにも死角があるので下車してトラックを一周し、周囲の安全を確認してからバックするようお願いします。あくまでもバックモニターは補助です。



- 「QRコードで安全運行」動画を配信中です。
ゆとりを持った運転を行うため、視聴をして頂き、事故防止にお役立てください。

※ 当組合では皆様の交通事故防止活動について支援を行っています。
講習会、研修会など事故防止対策にご活用ください。

連絡先：新潟地方交通共済協同組合 事故防止対策室 甲斐・石井・長谷川 電話025-284-9555



※上記QRコードを読み込むと、サンプル動画を視聴できます。
ステッカー及び動画の複製は、お断りいたします。

～ 見落とすな 横断歩道 小さな手 ～

(令和7年度 当組合佳作作品)
新潟陸運株式会社 山崎 勇様

事故防止重点 「接触事故の根絶」「構内・後退事故の根絶」「よく見る！安全確認の励行」「追突・交差点事故の根絶」